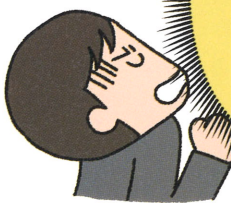


# 小学校から高校まで 英語教育改革のキホンがわかる 英語4技能ガイドブック

うろうろ……  
教えてあげたい。  
本当のことを  
教えてあげたい……



## 小学校から高校まで

英語教育改革のキホンがわかる

# 英語4技能 ガイドブック



# CONTENTS

## 第1部 英語教育改革ってなに？

- ・社会が激変するいま、教育の大改革がはじまりました ..... 1
- ・学年が1つ違うだけで、準備は大きく異なります ..... 2
- ・新学習指導要領の注目ポイントを整理します ..... 3
- ・日本の英語教育レベルの抜本的な引き上げが行われます ..... 4
- ・英語の使用レベルを表す指標・CEFRについて説明します ..... 5
- ・大学入試で『英語の民間資格検定試験』の利用はどうなったのか？ ..... 6
- ・日本の学校教育における英語はどうなっているのでしょうか？ ..... 7
- ・大学入試改革 英語4技能試験はどうなる？（国公立編） ..... 8
- ・大学入試改革 英語4技能試験はどうなる？（私立編） ..... 9

## 第2部 小学校・中学校・高校 それぞれの現状とこれからの変化

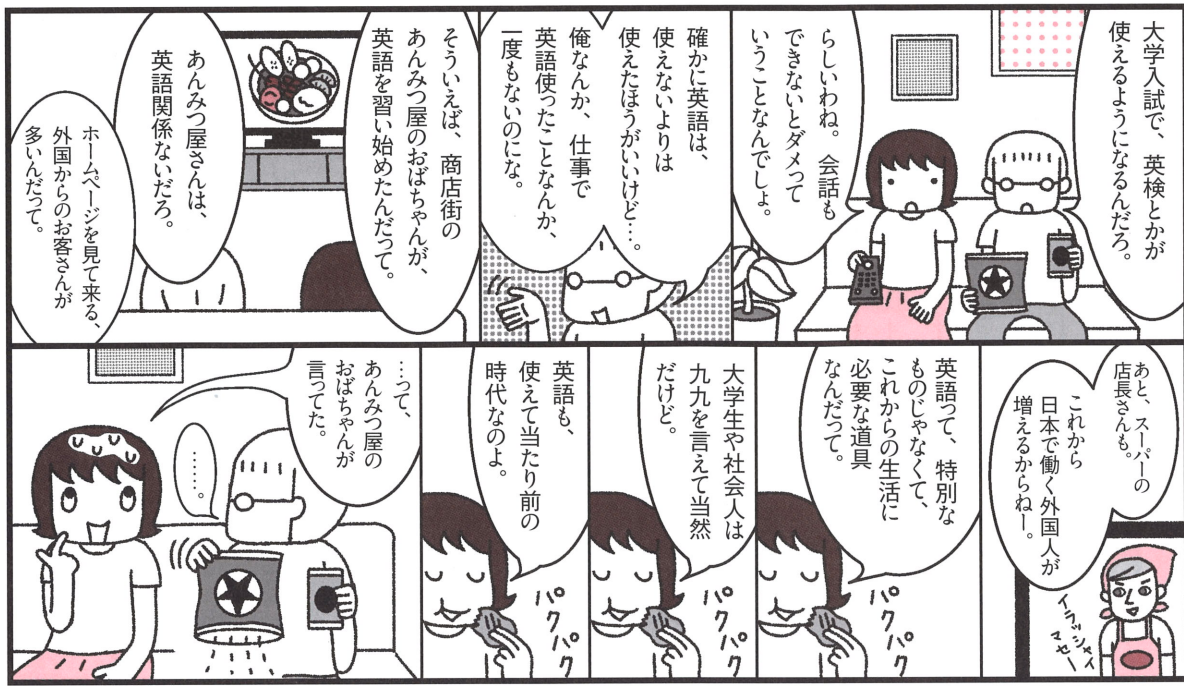
- 小学校の英語はこうなる！** ..... 10
  - ・小学校英語と移行措置
  - ・『Let's Try!』と『We Can!』のカリキュラムと特徴
  - ・中学受験における英語入試の現状と展望
- 中学校の英語はこうなる！** ..... 16
  - ・教育改革のスケジュールとその影響
  - ・英語学習のココが変わる
  - ・変わり続ける公立高校入試～入試問題の変化と民間資格検定試験の活用事例
- 高校の英語はこうなる！** ..... 22
  - ・変わる授業と大学入試
  - ・共通テストと4技能
  - ・大学入試の変化～国公立大学と私立大学の対応

## 第3部 特集

- 認定試験8種の特徴** ..... 28
  - ・英検®/ケンブリッジ英検/TEAP/TEAP CBT/GTEC/TOEFL iBT®/TOEIC®/IELTS
  - ・どれを受ける？いつ受ける？自分にあった試験の選び方

- 付録 国立大学～2021年度入試（一般選抜）の認定試験活用方法一覧 ..... 32
- 教育改革と新学習指導要領のスケジュール/CEFRの基準と認定試験との対照表 ..... 33

# 社会が激変するいま、教育の大改革がはじまりました



**教育の大改革が進行中！**

いま日本では、「教育改革」が進行しています。2019年度でセンター試験（大学入試センター試験）が終わり、翌年からは、新しくスタートする「共通テスト（大学入学共通テスト）」に切り替わります。

また、これまで中学校からだった教科としての英語の学習が小学校からになったり、小3から外国語活動がはじまったり、新しい高校の学習指導要領に、「数理探究」や「公共」といった、新しい教科や科目が加わります。

まさに、小学校から中学校、高校、大学まで日本の教育機関すべてに関わる大変革なのです。

だからこそ、その全貌を理解し、子どもたちにとってのよい影響があるのかを俯瞰的に把握して、事前に対応することはとても大切なことです。

本書では、その大変革のなかで最も変化の大きい「英語」について、小学校、中学校、

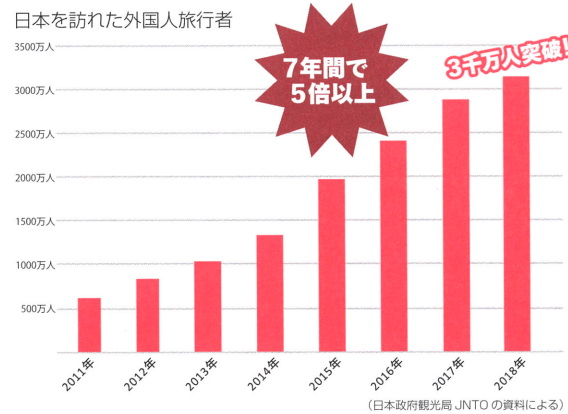
高校のセグメントごとに、「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能の観点から説明します。

**高まる英語の必要性**

まず、このような教育の大改革が必要となった、その背景について考えてみましょう。私たちの社会は少子高齢化とともに急激に変わっています。私たちが急激に変わっています。生産労働人口が急減し、慢性的な人手不足が続くなか、人工知能（AI）の活用や外国人労働者の受け入れもはじまりました。

インターネットや交通インフラの発達により、グローバル化も進行。国境を越えた人、モノ、情報の移動が活発になっていきます。

こういった状況のなか、外国語、とりわけ英語によるコミュニケーション能力の必要性が高まっています。それは一部の業種や職種に限った話ではありません。これまでは英語とは無縁だった人々も、

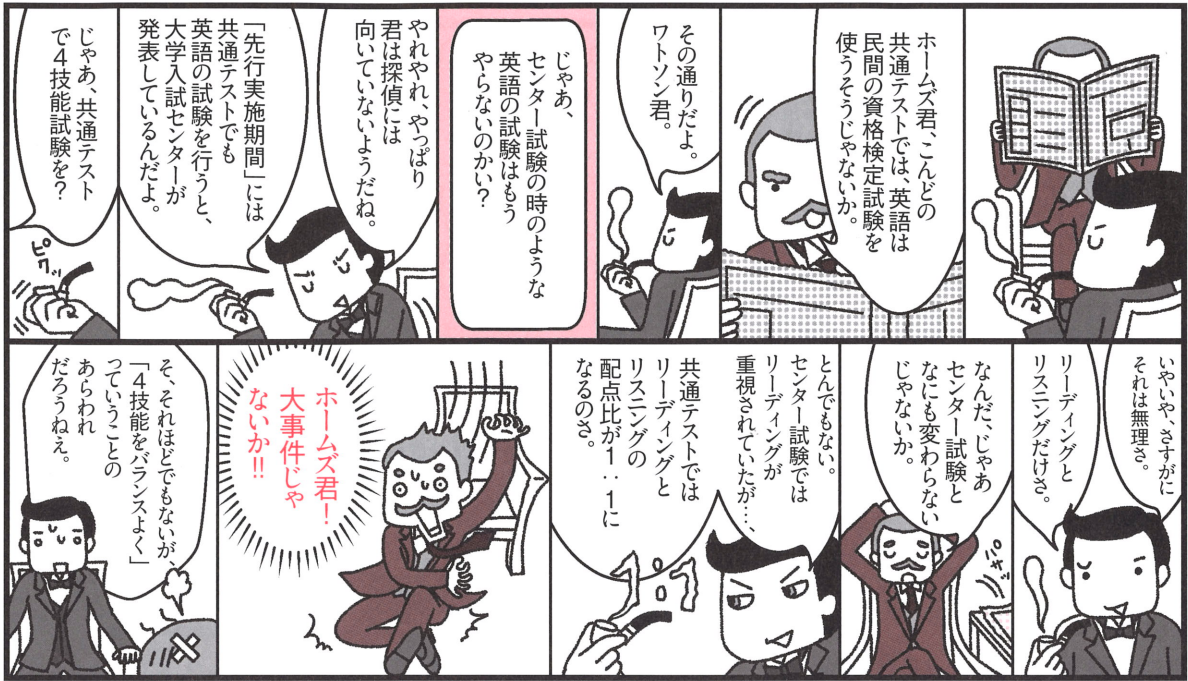


生涯にわたったりさまざまな場面で英語が必要となりはじめています。

また、その学び方も従来と同様ではありません。聞く「読む」「話す」「書く」といった多技能を統合的に学び、実用的なコミュニケーションができることが求められています。

(注)学習指導要領の「外国語活動」や「外国語で扱う言語は、英語に限ったものではありません。しかし多くの学校で英語を選択しているため、本書では「英語」と表現しています。

# 大学入試改革 英語4技能試験はどうなる？ (国公立編)



「いやいや、さすがにそれは無理さ。」

センター試験に代わり、2021年1月からスタートする共通テスト。2ページでも述べたように、2023年度(2024年入試)までの4年間は、いわゆる先行実施。本格実施は2024年度(2025年入試)からとされています。

これは、2024年入試までの受験生は、これまでの学習指導要領にもとづいたカリキュラムで学習しているためです。共通テストの実施を含め、大学入試は、学力の三要素を総合的に評価する出題に変わっていきます。その具体的な姿を、共通テストからみていきましょう。

まず、「知識や技能」に加え、「思考力」「判断力」「表現力」などを必要とする問題が増えます。また、調査書やeポートフォリオなどを活用して、「主体的な学びの態度」を評価します。国語では最大80×1200字の記述式の問題が出題されます。記述式の出題は、先行実

施期間中は国語と数学のみですが、本格実施時には、理科や社会でも記述式の出題が予定されています。

さらに、リスニングでは英語を母国語としない人による読み上げもあります。

さらに、リスニングでは英語を母国語としない人による読み上げもあります。

## 認定試験の使われ方

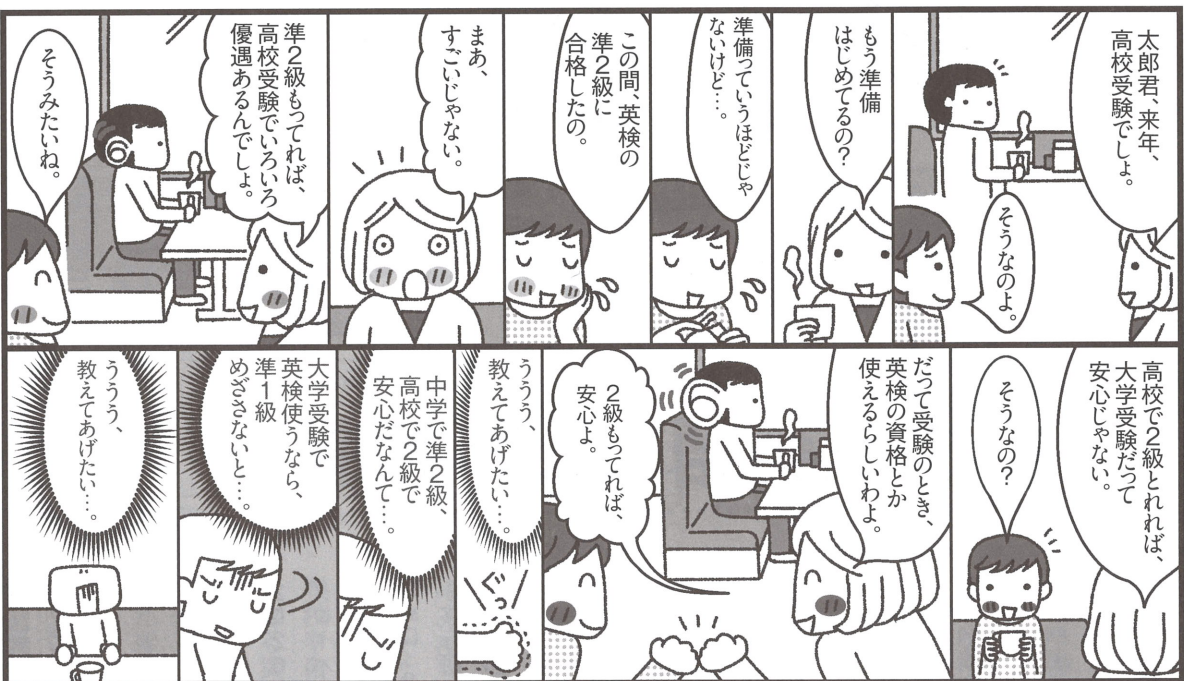
6ページで述べた認定試験の活用方法は、各大学や学部が独自に決めることになっています。国立大学協会(国大協)が提示した認定試験結果のおもな活用方法は、以下の3つ。

- ① 出願資格とする
- ② 共通テストに加点する
- ③ ①と②を組み合わせる

認定試験の結果を必要とする大学や学部を受験する場合は、高3時の4月～12月の間に2回の受験結果を登録でき、大学入試センターの「英語成績提供システム」を通じて、結果の良いほうを大学に提出します。

つまり受験生は、高2の3月までに認定試験をどう受けていくのか方針を固め、目標スコアに向けた対策の見直しも立てなければなりません。英語の仕上げは今までより少なくとも半年以上前倒しのスケジュール感になるでしょう。

# 大学入試改革 英語4技能試験はどうなる？ (私立編)



「いやいや、さすがにそれは無理さ。」

センター試験に代わり、2021年1月からスタートする共通テスト。2ページでも述べたように、2023年度(2024年入試)までの4年間は、いわゆる先行実施。本格実施は2024年度(2025年入試)からとされています。

これは、2024年入試までの受験生は、これまでの学習指導要領にもとづいたカリキュラムで学習しているためです。共通テストの実施を含め、大学入試は、学力の三要素を総合的に評価する出題に変わっていきます。その具体的な姿を、共通テストからみていきましょう。

まず、「知識や技能」に加え、「思考力」「判断力」「表現力」などを必要とする問題が増えます。また、調査書やeポートフォリオなどを活用して、「主体的な学びの態度」を評価します。国語では最大80×1200字の記述式の問題が出題されます。記述式の出題は、先行実

施期間中は国語と数学のみですが、本格実施時には、理科や社会でも記述式の出題が予定されています。

さらに、リスニングでは英語を母国語としない人による読み上げもあります。

さらに、リスニングでは英語を母国語としない人による読み上げもあります。

## 認定試験の使われ方

6ページで述べた認定試験の活用方法は、各大学や学部が独自に決めることになっています。国立大学協会(国大協)が提示した認定試験結果のおもな活用方法は、以下の3つ。

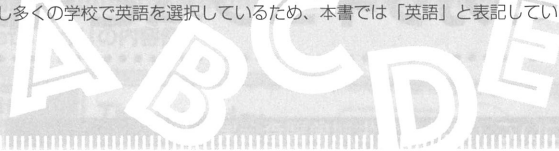
- ① 出願資格とする
- ② 共通テストに加点する
- ③ ①と②を組み合わせる

認定試験の結果を必要とする大学や学部を受験する場合は、高3時の4月～12月の間に2回の受験結果を登録でき、大学入試センターの「英語成績提供システム」を通じて、結果の良いほうを大学に提出します。

つまり受験生は、高2の3月までに認定試験をどう受けていくのか方針を固め、目標スコアに向けた対策の見直しも立てなければなりません。英語の仕上げは今までより少なくとも半年以上前倒しのスケジュール感になるでしょう。

主な民間資格検定試験活用方法	
<b>出願資格</b>	<b>試験免除</b>
各大学・学部が定める民間資格検定試験の基準スコアをクリアしている場合のみ出願可。	各大学・学部が定める民間資格検定試験の基準スコアをクリアしている場合、英語の試験を免除。
<b>加点</b>	<b>得点換算</b>
各大学・学部が定める民間資格検定試験の基準スコアに応じて、試験の得点に加点。	各大学・学部が定める民間資格検定試験の基準スコアに応じて、みだし得点を与える。満点とするケースもある。
<b>総合判定の要素</b>	

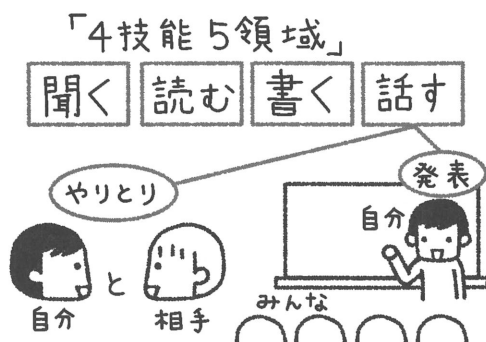
(注) 学習指導要領の「外国語活動」や「外国語」で扱う言語は、英語に限ったものではありません。しかし多くの学校で英語を選択しているため、本書では「英語」と表記しています。



### ■小学校英語の学年別授業時間数

2019年度 の学年	授業時間数				
	3年次	4年次	5年次	6年次	計
6年			50(70)	50(70)	100(140)
5年		15(35)	50(70)	70	135(175)
4年	15(35)	15(35)	70	70	170(210)
3年	15(35)	35	70	70	190(210)
2年	35	35	70	70	210

※移行期間中の授業時間数。( )は先行実施。



小学校英語は、全体としてコミュニケーションに使える英語をめざす4技能5領域の学びの第一歩と位置づけられ、中学への接続が強く意識されていることがわかります。

注意が必要なのは、この2年間の移行期間中は、自治体や学校の判断で、いわゆる全面実施と同様の内容と授業時間数で、先行実施が認められていることです。

#### 学校や自治体によって異なる実施状況

なお、2018～2019年度の移行期間中は、3、4年は年間15時間の「外国語活動」、5、6年は50時間の「外国語活動+外国語」の授業時間を最低限確保することになっています。

#### 小学生が学習する単語数は6000～7000語

これまでの小学校英語に習得単語数の設定はなかったのですが、新学習指導要領では、6000～7000語を習得するという目標が掲げられました。語彙には聞いたり読んだりして理解できる受容語彙と、話したり書いたりできる発信語彙があります。が、言語習得の手順は、まず受容語彙の幅が広がり、続いてその中でも使用頻度が高く、慣れ親しんだことが自己表現に使う発信語彙になっていきます。小学生が学ぶ語彙のバリエーションは、基

#### 履修年数も授業時間数も大幅増

2017年度までは、「外国語活動」として5、6年の2年間に35時間(週1回)ずつの授業が行われ、小学校での総授業時間は70時間でした。2020年度から新学習指導要領が全面実施となり、3、4年で各35時間の「外国語活動」、5、6年で各70時間の「外国語」の授業が行われ、4年間の英語の授業時間の合計は210時間と3倍増になります。

外国語活動は教科ではないため、成績はつきません。そして内容はこれまでと同じく「聞く」「話す」の2技能で行うアクティ

- コミュニケーションへの関心・意欲・態度
- 外国語表現の能力
- 外国語理解の能力
- 言語や文化についての知識・理解

#### 外国語活動は「聞く」「話す」「読む」「書く」も

小学校英語の学習内容はどう変わるのでしょうか。最大のポイントは、従来の5、6年の「外国語活動」が3、4年で行われ、5、6年では教科「外国語」となることです。外国語活動は教科ではないため、成績はつきません。そして内容はこれまでと同じく「聞く」「話す」の2技能で行うアクティ

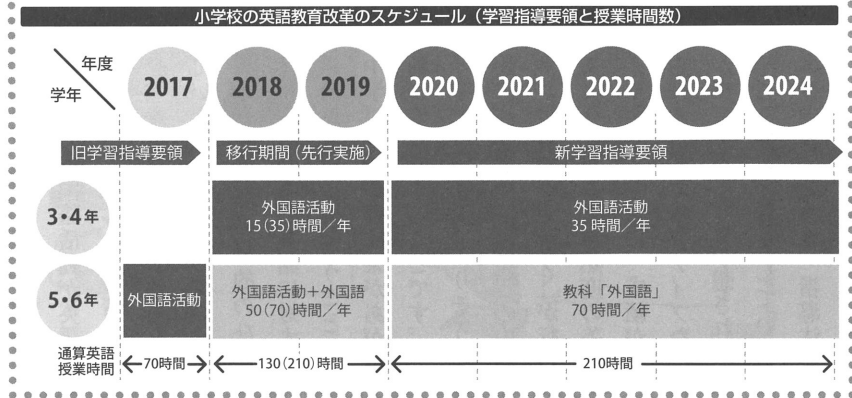
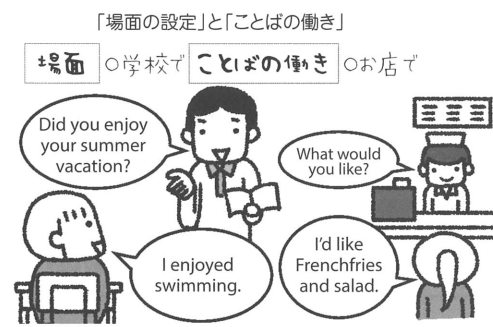
ビティですが、新学習指導要領ではことばを使う場面(あいさつ・買い物・学校など)が具体的に設定され、そこでのことばの働き(相槌を打つ・礼を言う・意見をいうなど)に慣れ親しんでいくことが重視されています。「実用英語の習得」をめざす学びは、コミュニケーションの基本を体験的に理解していくことから始まるのです。

また、外国語は教科のひとつなので成績がつきます。次の4つの観点による3段階評価です。

- コミュニケーションへの関心・意欲・態度
- 外国語表現の能力
- 外国語理解の能力
- 言語や文化についての知識・理解

#### 4技能5領域で伝え合う力の素地を養う

新学習指導要領では、「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能の一つである「話す」を、さらに「話す(やりとり)」「話す(発表)」「話す(やりとり)」「話す(発表)」に分けた4技能5領域を通して、学年に応じた伝え合う力の素地を養うとしています。



# 小学校の英語はこうなる!

## 小学校英語と移行措置

■英検<sup>®</sup>2級の出題例

Grade 2

### 4 ライティング

- 以下の TOPIC について、あなたの意見とその理由を2つ書きなさい。
- POINTS は理由を書く際の参考となる観点を示したものです。ただし、これら以外の観点から理由を書いてもかまいません。
- 語数の目安は80語～100語です。
- 解答は、解答用紙のB面にあるライティング解答欄に書きなさい。なお、解答欄の外に書かれたものは採点されません。
- 解答が TOPIC に示された問いの答えになっていない場合や、TOPIC からずれていると判断された場合は、0点と採点されることがあります。TOPIC の内容をよく読んでから答えてください。

TOPIC  
Some people say that too much water is wasted in Japan. Do you agree with this opinion?

POINTS  
● Daily habits  
● Technology  
● The environment

■TEAPスピーキングの見本問題

受験者がExaminerにインタビュー（ロール・プレイ型）  
下の例題では、「高校の先生にインタビューをする」という設定で受験者が質問を行います。

見本トピックカード

Begin your interview with this sentence: "Hello, may I ask you some questions?"

Ask questions about :

- The grade he/she teaches
- The subject(s) he/she teaches
- Problems in class
- Advice for future high-school teachers

早めの受検は  
メリットが大きい

大学入試制度の現状を踏まえ、民間資格検定試験は関係ないという領域はかなり狭く、その傾向はさらに強まっていくでしょう。したがって、高1生、高2生のうちから計画的に民間資格検定試験を受検し、実力に見合うスコアや級を取得していくことが望まれます。早期受検のメリットは次のとおりです。

- 準備学習によって英語4技能の実力がつく。
- 高3生の2回の受検に向けて、経験を積み、出題傾向をつかむことができ、より高みをめざす土台ができる。

● 私立大学の一般入試、総合型選抜・学校推薦型選抜では高2で取得したスコア・級を使える可能性はある。

早めのスタートで悪いことはなさそうですが、共通テストのための受検が重複するケースは考えられます。英語成績提供システムを利用する場合、たとえば、高2までに英検<sup>®</sup>2級を取得してもそれは利用できず、高3の4月以降に受検し直さな

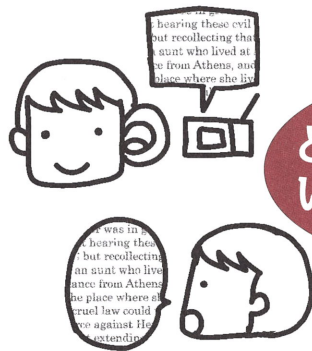
さです。受検者の多い英検<sup>®</sup>はこの点でも他を一步リードしています。また、GTECを在学中で導入している場合はこれらの条件がそろういます。

申込手続きの面から見た場合、留学系のTOEFL iBT<sup>®</sup>、IELTS、ケンブリッジ英検は公的身分証明書が必要で、学生にはハードルが高くなります。また、TOEFL iBT<sup>®</sup>とIELTSは受検費用が他の倍以上となっています。



# 自分にあった試験の選び方

どれを受ける？  
いつ受ける？



認定試験の選び方  
形式・内容との相性  
の良し悪しを分ける要素

その3

- 検討する際のポイントとして、次のようなものがあります。
  - ペーパーテストかPC入力か
  - 会話相手が人か機械（録音）か
  - 語彙・場面設定が対応しやすいか
  - 特有の課題に対応できるか
- 英検<sup>®</sup>の場合、英語成績提供システムの対象となる3種の試験

いと2級とは認められません。再受検で不合格となることも可能性としてはあります。したがって、一般選抜での進学をめざす場合、準1級をめざす土台としての2級取得には意味がありますが、そうでなければ高3生で受けたいということになります。

8種の試験のどれを選ぶかは、スコア・級の利用価値（希望する進路で評価されるか）、受検のしやすさ、出題の形式や内容との相性という3つのファクターを考慮して決めます。

認定試験の選び方  
「進路に適す」が必須条件

その1

最も重要なのは当然①で、志望する大学が指定している認定試験でなければなりません。その観点で、英検<sup>®</sup>は最も採用率が高く、民間資格検定試験を活用する入試を行う大学の90%以上で利用できる利点があります。他も総じて75%以上ですが、中には50%未満の民間資格検定試験もあるので、志望校の採否を確認したうえで受検する必要があります。

があります。

大学進学後に海外留学を予定している人、留学が必修の国際系学部への進学希望者、海外大への進学希望者などに適するのが、TOEFL iBT<sup>®</sup>、IELTS、ケンブリッジ英検です。ケンブリッジ英検は「生活」にウェイトをおいているので、一般性が高く受検者数も多いのですが、大学留学が目的ならアカデミックな語学力を測定するTOEFL iBT<sup>®</sup>かIELTSの適合性が高いといえます。どちらも世界中で評価される資格で広く通用します。ただしイギリスはTOEFL<sup>®</sup>を認めていないといった差異があるので、渡航先の事情を鑑みて選びましょう。

TOEIC<sup>®</sup>も大学の採用率は低くありませんが、試験内容がビジネス向きであることから、就職活動や社内待遇、昇進などが受検の主な目的となります。

認定試験の選び方  
受検のしやすさ

その2

②は、申込手続き・試験会場・費用などの面での受検のしやすさ

が長時間PCと向き合う形式であるのに対し、IELTSはペーパーテスト+対人面接と対照的で、試験選びの大きなポイントとなります。

の内容は同じで、異なっているのは実施方法です。CBTはすべてPC利用です。[2020 1 day S-CBT]はリスニング、リーディング、スピーキングがPCで、ライティング・ライティングが紙で、スピーキングは対人面接となります。

大学受験目的の民間資格検定試験はPC入力を中心となりつつあるので、苦手な人には避けるより慣れる対策をお勧めします。

場面設定で個性が強いのは、大学での学びが中心となっているTEAPとビジネスに偏るTOEIC<sup>®</sup>で、受検する場合には出題にあわせた演習を十分に行う必要があります。また、前述のケンブリッジ英検の受検者同士の会話やTEAPのロールプレイング形式で面接官に質問する役を務める課題は、準備なしでこなすのは難しいといえるでしょう。

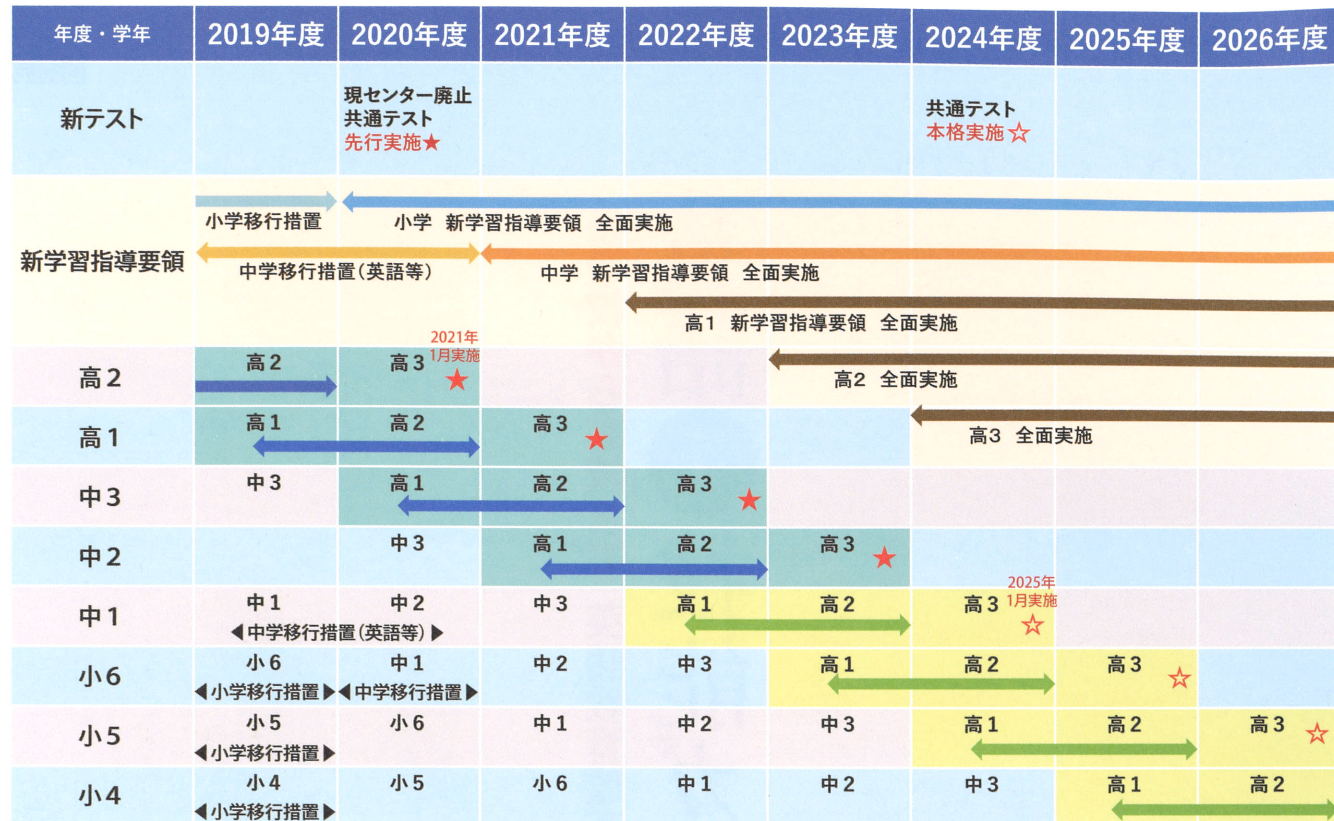
留学系では、TOEFL iBT<sup>®</sup>

以上を踏まえると、日本の大学をめざす場合の認定試験の受検計画は、普段学んでいる英語の力に対応しやすく、受けやすさもそなえている英検<sup>®</sup>が中心となりそうです。英検<sup>®</sup>の出題内容は2級まではなだらかにレベルアップしていくので、スコアや級の取得も計画的に進めやすいといえます。最終到達点としてめざす級・スコアの一手前までを、高2までに取得しておくのが理想的なスケジュールです。

GTECを在籍する学校で実施しているなら、英検<sup>®</sup>の場合と同じ考え方でコース、スコアを高めていきます。

英語成績提供システムでは2回のチャンスでそれぞれ別の認定試験を受けることもできるので、余裕をもって準備しておけば、受検に有利な2種の認定試験のスコアを取得することも可能です。

教育改革と新学習指導要領のスケジュール



↔ 学びの基礎診断 3科目(国語総合・数学I・コミュ英語I) 学力調査テスト高校版の位置づけ  
↔ 学びの基礎診断 新学習指導要領対応(必修科目5科予定) 推薦・AOへの活用の可能性あり  
★ 共通テスト ペーパーテストで記述式(国数)とマーク式、現行センターと同じ1月実施  
★ 共通テスト 本格導入(CBT-IRT)

CEFRの基準と認定試験との対照表

CEFR	ケンブリッジ英検	英検	GTEC	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R	TOEIC S&W
C2	230	各級合格スコア	各試験CEFR算出範囲	9.0					
C1	199	3299	1400	8.0	400	800	120	1990	
B2	179	2599	1349	6.5	374	795	94	1840	
B1	159	2299	1189	5.0	308	595	71	1555	
A2	139	1949	959	4.0	225	420	42	1150	
A1	119	1699	689					620	

※ TOEIC L&R / TOEIC S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定する。

■ 国立大学 2021年度入試(一般選抜)の認定試験活用方法一覧(抜粋)

都道府県	大学	学部・学科・入試方式	活用方法	ケンブリッジ英検	英検	GTEC	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R / S&W	加点/換算	備考											
北海道	北海道大学			活用なし(2022年度以降、出願資格として活用する可能性あり)																				
青森	弘前大学		共通加点									C2: 40点 C1: 35点 B2: 30点 B1: 25点 A2: 20点 A1: 10点	共通筆記200点+共通リスニング50点+認定試験40点											
宮城	東北大学 宮城教育大学		出願資格									活用なし A1以上	-											
福島	福島大学		共通加点									C2: 40点 C1: 35点 B2: 30点 B1: 25点 A2: 20点 A1: 10点	共通250点を160点に圧縮+認定試験40点											
茨城	茨城大学		共通加点									C2: 50点 C1: 40点 B2: 25点 B1: 20点 A2: 10点 A1: 5点	共通250点+認定試験50点											
	筑波大学		共通加点									C2: 20点 C1: 10点 B2: 5点 B1以下: -	共通200点に最大20点加点(超過なし)											
群馬	群馬大学		共通加点									C2: 16点 C1: 12点 B2: 8点 B1: 4点 A2: 0点 A1: スコア無し	共通250点を200点に換算し、最大20点を加点(上限200点)											
埼玉	埼玉大学		出願資格									A2以上	-											
千葉	千葉大学		出願資格									A2以上	-											
東京	東京大学		出願資格									A2以上	-											
	東京医科大学		出願資格									A2以上	-											
	東京外国語大学		出願資格									A2以上	-											
	東京農工大学		出願資格									A2以上	-											
	東京工業大学		出願資格									A2以上	個別試験の英語150点中30点分											
	お茶の水女子大学 電気通信大学 一橋大学		出願資格									A2以上	-											
神奈川	横浜国立大学	教育学部	出願資格									A2以上	20%											
		都市科学部	共通加点									A1	10%											
		経済学部	出願資格									A2以上	20%											
		経営学部、理工学部	出願資格									A1以上	15%											
新潟	新潟大学		共通加点										C2: 40点 C1: 35点 B2: 30点 B1: 25点 A2: 20点 A1: 10点	共通英語と認定試験の合計が200点満点										
													出願資格										A1以上	-
													出願資格										A1以上	-
													出願資格										A1以上	-
													出願資格										A1以上	-
													出願資格										A1以上	-
石川	金沢大学		出願資格									A1以上	-											
福井	福井大学	国際地域学部 全学部	出願資格									満点	共通英語満点											
静岡	静岡大学		共通加点										C2: 50点 C1: 40点 B2: 32点 B1: 24点 A2: 16点 A1: 8点	共通200点+認定試験50点										
													出願資格										A2以上	-
													出願資格										A2以上	-
													出願資格										A2以上	-
													出願資格										A2以上	-
愛知	愛知教育大学		共通加点										C2: 40点 C1: 25点 B2: 10点 B1: 0点 A2: 0点 A1: 0点	共通250点+認定試験40点を200点満点に換算										
													出願資格										A1以上	-
													出願資格										A1以上	-
三重	三重大学		共通加点									C1以上 B2以下	10%	共通英語の成績に外付けで配点の10%を加点										
滋賀	滋賀大学		出願資格									A2以上	-											
京都	京都大学		出願資格									A2以上	-											
大阪	大阪大学		出願資格										A2以上	-										
													出願資格										A2以上	-
徳島	徳島大学	総合科学部、医学部以外の医学部 歯学部口腔保健学科、理工学部 生物資源産産学部 医学部医学科、歯学部歯学科 薬学部	出願資格										A1以上	-										
													出願資格										A2以上	-
香川	香川大学	医学部医学科 医学部医学科以外	出願資格										A2以上 A1以上	-										
愛媛	愛媛大学	法文学部、教育学部、社会共創学部、理学部、医学部看護学科、工学部、農学部 医学部医学科	出願資格										A1以上	-										
													出願資格										A2以上	-
福岡	福岡教育大学		出願資格										A1以上	-										
	九州大学		出願資格										A2以上	-										
長崎	長崎大学	多文化社会学部 多文化社会学部以外	出願資格										B1以上 A1以上	-										
熊本	熊本大学		出願資格										A1以上	-										
鹿児島	鹿児島大学		共通加点	160	2304準1級	1250	5.5	334	600	72	1560		共通得点率80%以上の場合は、共通英語を満点とみなす											

掲載している情報は2019年5月末時点のものです。詳細は最新情報をご確認ください。